

全珠連(珠算・暗算)検定
文部 段位
科学省 級位
後援 第389回 1月27日(日)施行



発 行 所

公益社団法人 全国珠算教育連盟広島県支部
〒736-0082 広島市安芸区船越南3丁目25-16
電話 082-823-7535 FAX 082-824-0650
ホームページ <http://web-g.jp/hiroshima88>
発行者 支部長 岡田富士登
発行人 広報部長 十佐岡奈美



式辭



全珠連広島県支部
創立 65 周年記念式典開催
サンピア・アキ 9月 16 日(日)



連盟の創立とともに誕生した広島県支部が65周年の節目を迎えた。今回の式典は60周年から5年目、会員のみ88名が出席してお祝いの会が催された。

式典の前には記念講演として梶川眞秀本部顧問による講演「広島県支部の創立と歩み」があり、式典では各種の表彰が行われ、休憩後に祝宴が行われた。

壮太郎氏を支部長に選任し、会員数106名7地区をもつて活動を開始しました。

翌年の2月には記念すべき第1回全珠連検定試験を昭和29年2月21日に実施した。初年度の受験者数は6973名であった。当時の広島県は、広島・福山間の鉄道も3時間余もあり、広島での会議開催には手弁当で泊まり込みの開催であつた。その中にあつて先生方の情熱は珠算界を盛り上げようと一つにまとまり、その後の発展の礎となつた。

戦前から続く珠算王国の伝統は、競技面で実際に發揮され、戦後は中谷ミサ子氏(第4代支部長)が全国にその名を轟かせ、20年代後半から30年までの広島女子商業の黄金時代へと続いていった。

また、小・中学校部門でも、連盟主催の全国通信珠算競技大会での阿賀小学校・坂小

中学校は優勝や上位入賞を果たし、珠算王国廣島の名をゆるぎないものとした。

連盟会員の資質の向上は研鑽にありと、研修会や研究会の開催に繋がり、その後の高校教員免許や教育段位教育士取得は常に全国一に繋がつていった。

各部の活動も活発に行われ、昭和35年には機関紙『珠算広島』が創刊され、現在341号に及んでいる。この機関誌により珠算のPRや会員への伝達等が果たされた役割は大きく、現在の県支部発展に貢献してきた。

昭和30年代後半まで各執行部は、各部長の自宅や勤務先で業務を遂行していた。特に検定は業務量が多く部長の負担は計り知れないものがあった。昭和30年代後半まで各執行部は、各部長の自宅や勤務先で業務を遂行していた。特に検定は業務量が多く部長の負担は計り知れないものがあった。昭和30年代後半まで各執行部は、各部長の自宅や勤務先で業務を遂行していた。特に検定は業務量が多く部長の負担は計り知れないものがあった。昭和30年代後半まで各執行部は、各部長の自宅や勤務先で業務を遂行していた。特に検定は業務量が多く部長の負担は計り知れないものがあ

昭和 40 年代の	県支部	新見 三代 三 先生	清水 壮太郎 先生	初代 支部長 参考
31	三代 支部長	75 33	6	28 . 95 31 . 6
33	四代 支部長	75 39	6	·
39	中谷ミサ子	75 47	6	·
·	先生	·	·	·

昭和 40 年代の 県支部	39 四 代 支 部 長 中 谷 ミ サ 子 7 47	33 三 代 支 部 長 久 留 島 通 彦 6	新 見 三 代 三 先 生 39 6	31 二 代 支 部 長 清 水 壮 太 郎 6	28 初 代 支 部 長 9 31	参 考 一
	先 生 6	先 生 6	先 生 6	先 生 6		

資金案が常任委員会	討議され、10年後の
4月に竣工した。	4月に竣工した。
四代支部長	【参考】
中谷ミサ子	39・7・47・6
五代支部長	47・7・58・6
白尾 裕	47・7・58・6
珠算会館落成	昭和64年迄
支部待望の	54年4月、計画
十年目、待望の珠	館が安芸区船越南南
成、会員と多数の	支部業務が円滑に
を迎え落成式を挙	1255年度の検定受験
年まで毎年増を	12万3千を記録。
た。	39年7月竣工。

資金案が常任委員会
討議され、10年後の
4月に竣工した。

年	生	生	51年8月、中国五県 珠算選手権大会を開催 広島市で開催、以降 県各地で開催。54年 8月、呉市音戸ロジック で本部幹部養成講習会 を担当。
昭和62年	会員数52名	を記録。会員数全国1位、以降会員数は減少 に転する	51年8月、中国五県 珠算選手権大会を開催 広島市で開催、以降 県各地で開催。54年 8月、呉市音戸ロジック で本部幹部養成講習会 を担当。
五代支部長	47・75 58・6	一参考	51年8月、中国五県 珠算選手権大会を開催 広島市で開催、以降 県各地で開催。54年 8月、呉市音戸ロジック で本部幹部養成講習会 を担当。
六代支部長	58・75 平成元・6	白尾 裕 先生	51年8月、中国五県 珠算選手権大会を開催 広島市で開催、以降 県各地で開催。54年 8月、呉市音戸ロジック で本部幹部養成講習会 を担当。
米田 勇 先生	58・75 平成元・6	平成元・13年 財政の危機	51年8月、中国五県 珠算選手権大会を開催 広島市で開催、以降 県各地で開催。54年 8月、呉市音戸ロジック で本部幹部養成講習会 を担当。

51年8月、中國五県珠算選手権大会を開催。広島市で開催、以降五県各地で開催。54年8月、呉市音戸ロッジで本部幹部養成講習会を担当。昭和62年会員数520名を記録。会員数全国首位、以降会員数は減少に転ずる。

新しい検定試験制度移行。小学校低学年対象の制度が好評。受験者減に歯止めが掛かる珠算段位・暗算段位定を中心して受験者数に転じた。平成元年荒木勲会が出席した島根県で去る。新見三代三先生全珠連会長に就任(成元年～3年まで)

新しい検定試験制度移行。小学校低学年対象の制度が好評。実験者減に歯止めが掛珠算段位・暗算段位定を中心に受験者数に転じた。

平成元年荒木勲会
が岡山県で出張先の島根県で
去。新見三代三先生
全珠連会長に就任(成元年(3年まで)
元・7・4・6
富中 矩登 先
七代支部長
【参考】

の開催は初めてだつたが、会員の協力が見事に盛會裡へと繋がつた。19年7月梶川眞秀先生が連盟本部理事長に就任、29年8月まで10年間務めた。

22年度はアステールプラザ、29年度は上野学園ホールに於いて全国研究集会と一緒に諸会議を担当。前日の懇親会を含め、会員の輪により盛會裡に終了。

今後の支部の課題は会員の若返りである。県執行部に於いては青年部の発足等今後も若い力に期待したい。

30年9月、65周年を挙行。財政は困難な時代に直面している。

【参考】

十代支部長
岡田富士登 先生

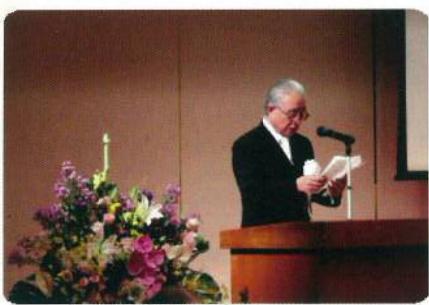
なお、紙面の都合により支部の執行役員等の記載は除いた。
(65周年記念講演より)

★★★
JRバスで行く
★★★

全珠連会員教場レクリエーション 東京ディズニーリゾート修学旅行

募集中
締切日 1月30日(木)

創立65周年記念式典祝賀会スナップ・ショット



岡田支部長の式辞



栗栖理事の舞踊「黒田武士」

65周年記念式典は午前10時半から開始され、会員の表彰、記念講演と続き、午後からは祝賀会に。7月の豪雨災害による交通事情の悪影響にもかかわらず県内各地から88名の会員の参加があり、春名副支部長の開会宣言、岡田支部長の式辞、その後各種の表彰が行われ、台井支部顧問から謝辞があった。

式典終了後は、65周年に相応しく、『広島県支部の創立と歩み』と題した講演が梶川本部顧問からあり午後の部の祝賀会へと進んだ。

祝賀会は、伊藤副支部長の開会のことば、梶川本部顧問の挨拶、山戸理事の乾杯の音頭により楽しい宴がはじまった。宴の始まりは、栗栖理事による黒田武士の舞、そして猪足裕子先生によるひょっこ踊りは祝いの会に花を添え、出席者から大きな拍手が湧き上がった。その後も各地区による色々なアトラクションがあり、時間とともに盛り上がりが増した。

5年ごとの記念式典、次会での再会を約束し、三宅支部顧問の万歳三唱で閉会した。閉会後は、三々五々家路に。また、2次会へと歩を進めて余韻を楽しんでいた。



全珠連歌齊唱



春名副支部長の開会宣言



各種感謝状等の贈呈



梶川顧問による記念講演



台井先生による謝辞



山戸理事による乾杯の音頭



贈られた。先生のお気持ちを有難く
いただきました。

本・支部顧問
中谷ミサ子先
生からお祝い
の紅白饅頭が
参加者全員に



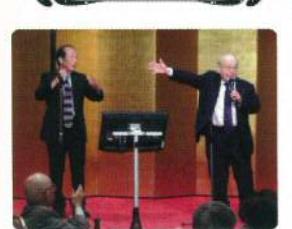
梶川顧問による記念講演

猪足先生による
ひょっこ踊りで開演伊藤副支部長による
祝賀会開会のことば

すばらしい司会
進行役で式典が
盛り上がった。



祝賀会のアトラクション 各地区代表自慢のカラオケや踊りで会場が沸いた♪

片田先生を先頭とする三原の「やっさ踊り」で
会場が一体となり、賑やかにフィナーレ

三宅顧問の万歳三唱で閉会へ

一連事業は盛会裡に終了することができました。会員のご協力に感謝申しあげます。
70周年祝賀会で、また会いましょう。お元気で活躍ください。

支部創立65周年記念式典の
スナップ写真から選び、掲載しました。

